

日蓮は大聖人滅後の、我々もまた一切衆生が受けと
ける同一の苦しみある共に受けとめ、ゆかくと念願する
者である。

今回の期でぬ大地震に見舞われた熊本県は、水災事件と呼ばれる不知火海沿岸の水災及び近隣地域に現れた水災痛が、公式に発見されたことである。昭和三十一年八月五日より数えて、平成二十八年五月一日でちょうど六十六年に当たる。水災痛が公式確認されたこの日を迎えるのである。

創業者の野口道平が水力発電の余剰電力を役とし、
 明治四十二年（一九〇八）に「富山県肥料株式会社」を設立し、
 肥料株式会社を創出し、同社は昭和二十五年（一九五〇）
 に「新日本化学肥料」と改称し、昭和四十四年（一九六九）に「チン」
 と社名を変更した。

昭和八(一九三三)同社による水銀汚染が始まり、
 早くも魚がぼろぼろ死にじ、カウヤの水鳥の落下
 が目撃された。昭和三十八(一九五三)末、劇症奇病患者
 が急増し、昭和三十九(一九五四)五月一日、水銀病が正式
 に確認されたのは周知の事であるだろう。

以後「水爆病」という名称の是非についてこそ、
 展開されているが、いゆるふくし確からず、ハナハ
 経ってしまったに過ぎず、今は、多くの~~誤謬~~
 ように、東京及び各地への被害が、爆撃機・ミサイル・長崎の
 原爆、じきニ海域の爆撃艇、東京電力社島子一系より
 発電所事故と同様に、現れも止むことなく続いている。

國家による強いるべき暴民政策を模正するための極めとして、
重慶をこの國の命運を握つてゐる。

既に故人となられた医師の組川一雄、原田正雄氏、村山孝
の、井野氏、被害者追正助に大なる足跡を残された川本
輝夫氏をはじめとする被害者の方々、また、いまも遺族
をなすというフォートジャーナリストの西原史成氏、衆を頼
まずこの人の慰いも継続されている医師の緒方止人氏、
そして、お金の入らずに送り出すという志士達が残して
下さった歴大な資料や活動記録から、人々こそよく見て
右の弊に気がなければならぬといふのである。

今に、石井礼道氏の『玄海浄土』が、京都「章
より」死旗の「即」を引いて、こゝに。

一、この書の内容は、作者の人生経験と、その時代の社会情勢を、
 著者の筆で、生々しく描き出している。その中で、著者は、
 社会の矛盾や、人々の苦悩を、鋭く指摘している。その一方で、
 希望や、理想を、胸に抱き、未来を信じている姿も、よく表れて
 いる。

我々一同もまた、今年お参りしに就いて、わが国の近世のめい
 まより現世にいたるまでの變遷、一國の産業を發展し、
 富に豐者の視念に立ち、したすゝる者、裁きも神に
 懇請し祈る。近代の藝術者とならばならぬし
 だ。

[illegible]

我等一同之志。懺悔。感泣。已來自他處。法。非。修。清。海。
道。今。堅。固。信。力。不。退。
願。以。此。功德。並。及。於。一。切。我。等。亦。願。生。於。如。來。妙。道。
阿。彌。陀。佛。如。來。妙。道。如。來。妙。道。如。來。妙。道。

敬啟者
民國二十八年四月十八日
上海
徐文
全